

狛江市環境基本計画

狛江市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

豊かな環境を みんなで未来につなぐまち
～水と緑の狛江～

1 計画の基本的事項

(1) 計画の目的

本計画は、狛江市の豊かな環境を未来につなぎ、安心・安全で豊かな暮らしを持続できる社会の構築をめざし、狛江市で暮らし働く全ての人々が環境保全の取組を実践するための『道しるべ』として、狛江市環境基本条例に基づき策定しました。

(2) 計画の期間

令和2（2020）年度～令和11（2029）年度

(3) 計画とSDGsの関係

本計画では、自然環境、地球温暖化、資源循環、都市環境といったあらゆる環境分野に取り組むこととしており、その結果、SDGsの10個の目標達成に貢献することができます。

一口メモ 「SDGs」とは？

持続可能な開発目標(SDGs)とは、平成27(2015)年9月に採択された国際目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための17の目標と169の達成基準から構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3 地球温暖化に備えた暑さ対策などにより、市民の健康確保や福祉の促進に貢献。



4 自然や生物多様性に関する副読本の作成等を通じて、子どもたちへの環境教育に貢献。



6 河川等の水質保全や健全な水循環の回復に取り組み、水資源の持続的な利用に貢献。



7 市内のエネルギーを再生可能エネルギー等に転換し、資源の持続的な利用に貢献。



11 環境保全と地域の発展を両立させ、住み続けたいと思えるまちの実現に貢献。



12 4Rの推進や食品ロスの削減などに取り組み、循環型社会の推進に貢献。



13 温室効果ガスの削減や気候変動への適応により健康被害・災害の発生の軽減に貢献。



14 川の水質保全やプラスチックごみの削減等により、海洋資源の持続可能な利用に貢献。



15 生きものと共存したまちづくりにより、生態系の保全や生物多様性の損失の阻止に貢献。



17 環境保全に関わる仕組みやネットワーク等の充実により、パートナーシップの活性化に貢献。

2 狛江市がめざす環境像と基本目標

(1) 狛江市がめざす環境像

本計画においては、環境保全に係る課題の幅が広がり、多様な主体間の連携・協働がより強く求められる現代社会の情勢を踏まえ、前計画で掲げた環境像を引き継ぎ、長期的な視点と継続的な取組によりその実現をめざすこととします。

《狛江市がめざす環境像(基本理念)》
**豊かな環境を
みんなで未来につなぐまち
～水と緑の狛江～**

(2) 基本目標

狛江市がめざす環境像を実現するため、本計画では4つの分野別目標及び各分野にまたがる1つの共通目標を定めます。



3 環境施策と重点環境プロジェクト

基本目標1 (自然環境)

人と生きものが共存する、豊かで多様な水と緑のまちづくり

自然環境分野では、「水と緑」の持つ多様な役割や機能を市民全員が共有し、創出・保全及びネットワーク化に取り組むことで、豊かな自然環境と生物多様性が確保されたまちをめざします。

施策の方向性

個別施策

まちの緑の創出

彩り豊かな緑の創出・ネットワーク化の推進

魅力ある身近な公園づくりの推進

まちの緑の保全

農地の保全

地域の緑の継承

生きものと共存するまちづくり

自然とまちの調和の推進

在来の生きものの保全

生物多様性に関する情報の蓄積と活用の推進

【重点環境プロジェクト1】

「ちょこっとビオトープ」による生物多様性創出プロジェクト



小規模なスペースに多様な生きものが生息できる工夫を取り入れた空間を「ちょこっとビオトープ」として、市民・事業者との連携・協働により創出に取り組みます。

具体的な取組

- 住宅や事業所の庭先、生垣、ベランダ等における「ちょこっとビオトープ」の創出
- 公園の活用や学校教育との連携等による「ちょこっとビオトープ」の創出
- 「ちょこっとビオトープ」を活用した環境学習やPR・普及啓発の推進 など



〈カナヘビなどがくらす石積み〉



〈バッタの仲間などがくらす草むら〉

ーロメモ 「重点環境プロジェクト」とは？

本計画の中から、特に市民・事業者と連携・協働しながら優先的に取り組むべき施策と取組を、抽出・パッケージ化したものです。

基本目標2 (地球温暖化)

地球温暖化を乗り越える、人と地球にやさしい脱炭素社会の推進 狛江市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

地球温暖化分野では、市民・事業者が生活や仕事のスタイルを見つめ直し、省エネや再生可能エネルギー活用等の地球温暖化対策に取り組むとともに、気候変動の影響（6 ページの「[一口メモ](#)参照）に適應した生活が送れるまちづくりをめざします。

施策の方向性	個別施策
エネルギー効率のよいまち	家庭の省エネルギー促進 事業所の省エネルギー促進 公共交通・徒歩・自転車等での移動促進に向けた環境整備 市の施設における省エネルギーの推進
再生可能エネルギー等の利用促進	太陽光発電等の普及促進 エネルギーの多様化と自家消費の推進 市の施設における再生可能エネルギー等の導入推進
気候変動の影響への適應	地球温暖化に関する情報収集・発信 暑さ対策の推進 浸水等による被害防止の推進 自然環境への影響軽減の推進

狛江市の温室効果ガス排出量を取り巻く状況や、将来排出量及び削減可能量の推計結果に基づき、市域の温室効果ガス排出削減目標を次のとおり掲げます。

温室効果ガスの排出削減目標

<中期目標>

温室効果ガス排出量を令和 12（2030）年度に平成 25（2013）年度比 **36%**削減

<長期目標>

温室効果ガス排出量を令和 32（2050）年度に **80%**削減

【重点環境プロジェクト2】 まちまるごと省エネプロジェクト



市民・事業者の省エネ意識は高い水準にあることを踏まえ、暮らしの快適性や健康を維持しながら大きな効果が得られる、より質の高い省エネ行動へのステップアップを促進します。

具体的な取組

- 日常生活や日常業務における効果的な省エネ行動の推進
- 家電製品や業務用設備等の購入時における省エネ型機器選択の推進
- 低炭素な電力の選択推進
- 自家消費型の太陽光発電等の導入推進 など



＜省エネをテーマとした市民向けセミナーの様子＞

【重点環境プロジェクト3】 暑い夏も快適で健康に暮らせるまちづくりプロジェクト



熱中症等の予防や発症時の適切な対応のみならず、暑さ対策に効果的なインフラの整備や緑の活用等を推進します。

また、実感しやすい暑さ対策に重点的に取り組むことで、適応策が優先課題であることをまちづくりに関わる様々な主体と共有し、着実な実現をめざします。

具体的な取組

- 水分補給や冷房の適切な使用、服装の工夫等、日常的な熱中症対策の推進
- 壁面緑化、屋上緑化、緑のカーテンの拡充
- 公共施設の活用や事業者等との連携・協働によるクールシェアの推進
- 熱中症の予防や対処に役立つ情報発信の推進 など



＜「えきまえ広場」に設置されているミストシャワー＞

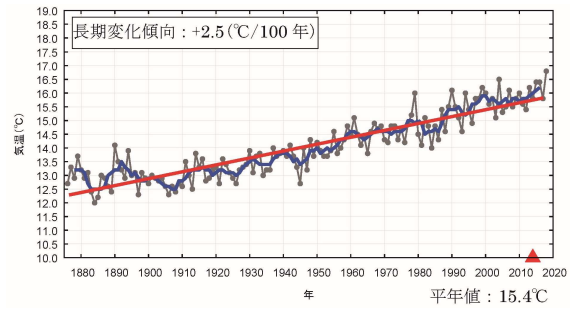


＜市と協力機関等が展開する熱中症予防スポットに掲げられている目印＞

一〇メモ 「気候変動による影響」とは？

東京管区気象台の観測結果によると、都内の平均気温はこれまでの100年で約2.5℃上昇しており、熱帯夜（夜間の最低気温が25℃以上）の増加や冬日の減少等が顕著です。

都内の気象に係る今後100年間の将来予測では、平均気温が約4℃上昇することや、滝のように降る雨の発生が2倍、猛暑日（日最高気温が35℃以上）が年間で40日増加することが予測されています。



出典：「気候変化レポート 2018 一関東甲信・北陸・東海地方」東京管区気象台

<東京管区気象台における年平均気温の経年変化>

基本目標3 (資源循環)

環境負荷の少ない、循環型社会の推進

資源循環分野では、4R（次ページの一〇メモ参照）の推進と適切な廃棄物処理に取り組むことで、持続可能な循環型社会の推進をめざします。

施策の方向性

ごみ排出量の低減
(4Rの推進)

適正なごみ処理と資源
循環の推進

個別施策

4Rの推進

プラスチックごみの削減

食品ロスの削減

適正なごみ処理と資源循環の推進

【重点環境プロジェクト4】

みんなで食品ロス削減プロジェクト

市民・事業者に対し食品ロス削減に向けた働きかけや連携・協働を提案することにより、各主体が一体となって、市民レベル、事業活動レベルの両面において食品ロスの削減に取り組みます。

具体的な取組

- 市内商店街や飲食店、小売店との連携・協働による食材の使い切り、小盛メニューや使い切りサイズ商品の追加、食べ残し防止のキャンペーン等の推進
- フードバンク活動の取組促進
- 家庭における食材の使い切りや食べ残し防止の推進 など

一〇メモ 「3010（さんまるいちまる）運動」とは？

宴会時の乾杯後30分間とお開き10分前は料理を楽しみ、食品ロスを削減する運動です。



出典：環境省ホームページ

<「3010運動」啓発用ポップ>

一〇メモ 「4R」とは？

ごみの減量に有効とされる、頭文字がRで始まる次の4つの行動のことです。

Refuse（リフューズ） 発生回避 ごみになるものを買わない、断ること

Reduce（リデュース） 排出抑制 ごみの量を減らすこと

Reuse（リユース） 再使用 使ったものを廃棄せずにそのまま使うこと

Recycle（リサイクル） 再生利用 使ったものを資源として再利用すること

基本目標4
(都市環境)

健やかで安全・快適な暮らしを維持する、都市環境の確保

都市環境分野では、大気・水質等を良好に保つとともに清潔で安全なまちを維持し、心身ともに豊かに暮らせるまちづくりに取り組みます。

施策の方向性

個別施策

大気・水質等の保全と騒音・振動等の抑制

環境監視・測定の実施

健全な水循環の回復

雨水浸透による水循環の回復

水資源の有効活用

地域に根ざした生活環境の保全

地域の美化・清掃活動の推進

マナーの向上による地域環境の確保

良好な景観づくりの推進

【重点環境プロジェクト5】

みんなが笑顔で暮らせる美しいまちプロジェクト



市民・事業者との連携・協働の強化による河川や身近な地域の美化活動を推進するとともに、路上喫煙やポイ捨て等のマナー向上を啓発する情報発信に取り組み、清潔で美しいまちなみにつながる地域の美化に努めます。

具体的な取組

- 多様な主体との連携・協働による多摩川や野川の美化清掃の推進
- 市民マナーの向上につながる情報発信等の推進
- 町会・自治会や団体による地域の美化活動の推進 など



<多摩川統一清掃の様子>



<狛江市路上喫煙等の制限に関する条例の概要チラシ>

基本目標5

主体的な実践につなげる、人づくり・地域づくり

本計画の全ての分野に共通して、環境に関わる教育や学習の推進だけでなく、様々な主体の交流機会や活躍の場を充実させ、一人ひとりが自覚を持って環境保全に取り組むまちをめざします。

施策の方向性	個別施策
環境意識の向上	情報発信、意識啓発の推進 地域や子どもに向けた環境教育の推進
環境保全を「実践」する人づくり	地域のリーダー的人材の発掘・育成 市民協働による環境保全の推進 市民主体の身近な環境保全活動の促進
ネットワークの形成	主体間のネットワーク化の推進 広域的連携の推進

【重点環境プロジェクト6】

市民みんなが環境を考え行動するまちプロジェクト



これまでの各種イベントや情報発信、環境学習等を継続・充実するとともに、より身近な「健康」「福祉」「防災」「観光」等と連携した情報発信やイベントの検討、SNS等の新たな情報発信手段等の検討を進めます。

具体的な取組

- 環境保全による副次的効果に着目した、健康、福祉、防災、観光等の他分野と連携した情報発信の推進
- 市報や「こまeco通信」、ポスター等紙媒体を有効活用した情報発信の推進と、SNS等を含む情報発信手段の多様化の検討
- 出張講座、小学生環境サミット、こまエコまつり等による普及啓発の推進 など



＜次世代自動車の啓発イベントの様子＞

4 計画の推進

本計画の進捗管理については、施策の方向性及び重点環境プロジェクトごとに掲げた指標の値を毎年度把握した上で、目標達成に向けた進捗状況を点検・評価し、本計画の進捗状況の報告書である「狛江のかんきょう」で公表します。なお、進捗管理に用いる指標・目標については、施策の実施状況や社会環境の変化等を踏まえて、必要に応じて見直しを行います。

また、本計画の基本目標2及び関連施策は「狛江市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」として位置付けているため、指標とは別に温室効果ガスの排出量についても毎年度把握し、削減目標の達成状況を点検・評価します。